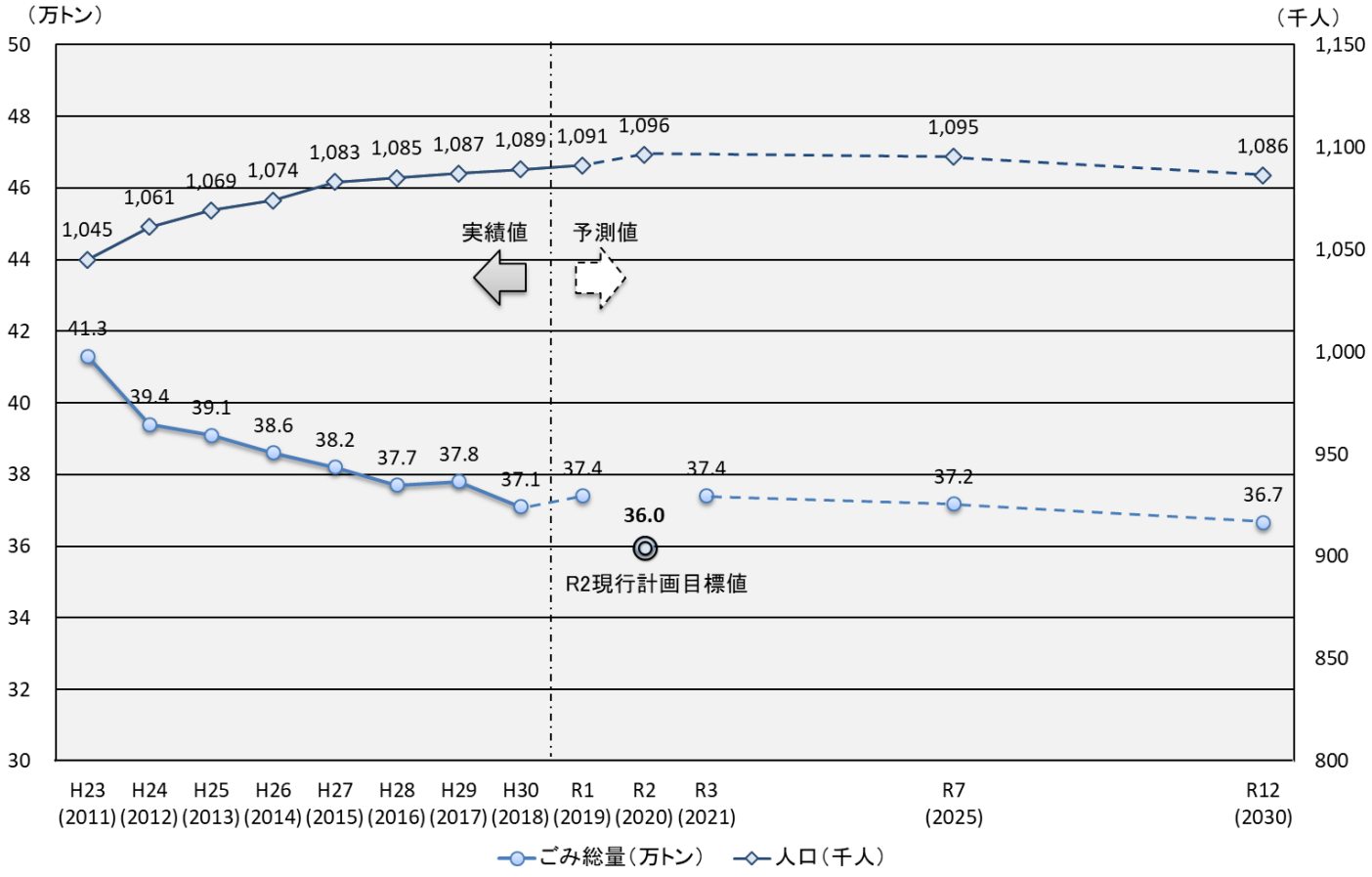
参考資料１

ごみ総量の見込みについて

１．将来人口

- 平成 27 年 10 月時点の国勢調査人口を基に、コーホート要因法による推計（まちづくり政策局「仙台市総合計画審議会」資料より）
- 令和 2 年度頃にピークに達した後、令和 12 年度頃には 108.6 万人まで減少していくと予測

２．ごみ総量（生活ごみと事業ごみの合計）

- 令和元年度の見込量から算出した市民 1 人 1 日当たりのごみ総量（以下「原単位」）である 937g/人・日を基に、令和 3 年度のごみ総量原単位を 935g/人・日と設定
- 今後のごみ総量については、従前からの施策の継続により、ごみ総量原単位を 5 年後の令和 7 年度までに 5 g/人・日、10 年後の令和 12 年度までに 10g/人・日の減量を見込んだ量に人口減少を加味した単純推計